

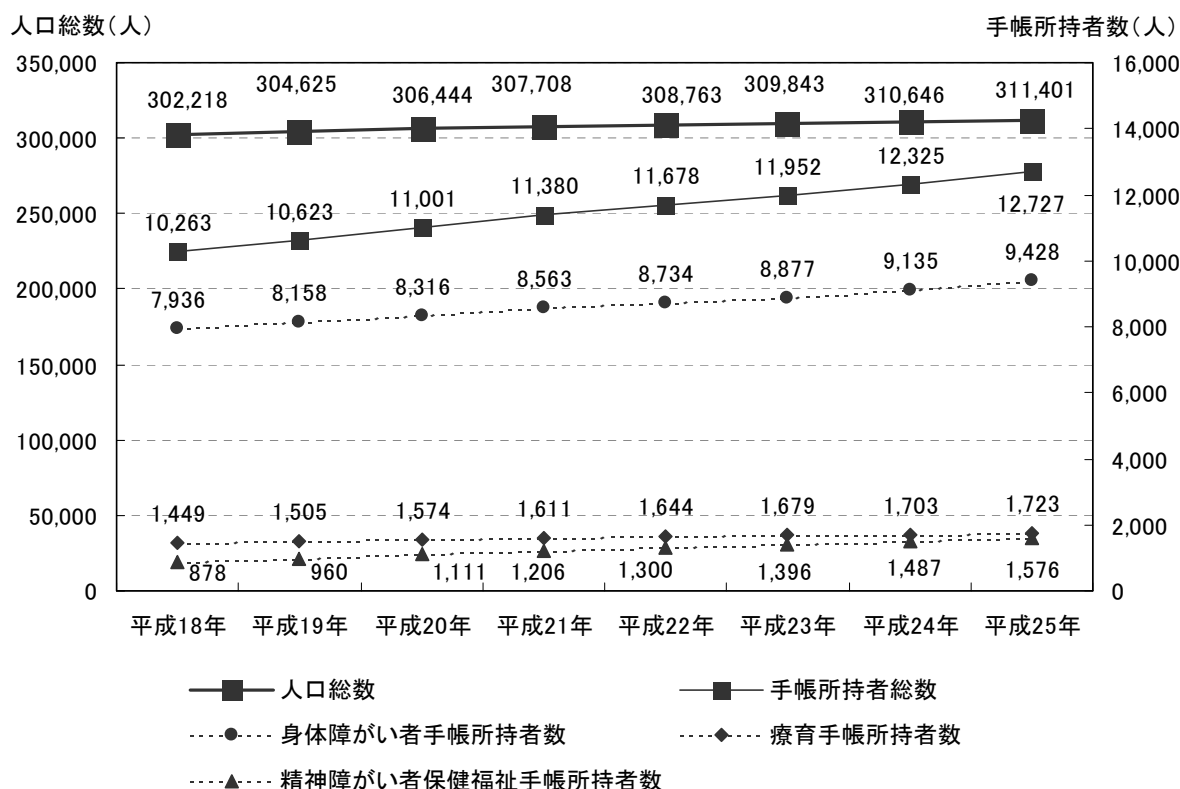
# 第3章 障がい者の推移と推計

## 1 本市の人口および障がい者の推移と推計

本市の総人口は、平成18年10月1日現在で302,218人、平成20年10月1日現在306,444人となっており、増加傾向となっています。目標年次の平成25年の総人口は311,401人、障がい者手帳所持者数は12,727人と推計されます。

また、本市の総人口に対する各障がい者手帳所持者数の比率をみると、平成20年10月1日現在で、手帳所持者数全体で3.59%、身体障がい者手帳所持者数で2.71%、療育手帳所持者数で0.51%、精神障がい者保健福祉手帳所持者数で0.36%となっており、各障がい者手帳所持者数の比率は年々増加しています。目標年次の平成25年で、手帳所持者数全体で4.09%、身体障がい者手帳所持者数で3.03%、療育手帳所持者数で0.55%、精神障がい者保健福祉手帳所持者数で0.51%と推計されます。

図表 本市の総人口と各障がい者手帳所持者数の推移



第3章 障がい者の推移と推計

(単位：人)

区 分	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	
人口総数	302,218	304,625	306,444	307,708	308,763	309,843	310,646	311,401	
手帳所持者総数	10,263	10,623	11,001	11,380	11,678	11,952	12,325	12,727	
対総人口比率	3.40%	3.49%	3.59%	3.70%	3.78%	3.86%	3.97%	4.09%	
内 訳	身体障がい者手帳 所持者数	7,936	8,158	8,316	8,563	8,734	8,877	9,135	9,428
	対総人口比率	2.63%	2.68%	2.71%	2.78%	2.83%	2.86%	2.94%	3.03%
	療育手帳所持者数	1,449	1,505	1,574	1,611	1,644	1,679	1,703	1,723
	対総人口比率	0.48%	0.49%	0.51%	0.52%	0.53%	0.54%	0.55%	0.55%
	精神障がい者保健 福祉手帳所持者数	878	960	1,111	1,206	1,300	1,396	1,487	1,576
	対総人口比率	0.29%	0.32%	0.36%	0.39%	0.42%	0.45%	0.48%	0.51%

各年10月1日現在 平成21年以降は推計値

## 2 年齢別手帳所持者数などの推移と推計

### (1) 身体障がい者手帳所持者の推移と推計

年齢別の身体障がい者手帳所持者数の推移をみると、青年期、高齢期の方がともに増加しています。平成20年10月1日現在の身体障がい者手帳所持者の年齢別構成比をみると、高齢期の方が62.22%と最も多く、次いで壮年期の方が27.77%となっています。

目標年次の平成25年には、9,428人と推計され、平成20年からの伸び率で13.37%となります。年齢構成でみると、高齢期の伸び率が最も高く、23.54%となっています。

(単位：人)

区分	児童期	青年期	壮年期	高齢期	合計
平成18年	211	610	2,364	4,751	7,936
構成比率	2.66%	7.69%	29.79%	59.87%	100.00%
平成19年	205	633	2,383	4,937	8,158
構成比率	2.51%	7.76%	29.21%	60.52%	100.00%
平成20年	197	636	2,309	5,174	8,316
構成比率	2.37%	7.65%	27.77%	62.22%	100.00%
平成21年(推計)	201	631	2,289	5,442	8,563
構成比率	2.35%	7.37%	26.73%	63.55%	100.00%
平成22年(推計)	200	628	2,280	5,626	8,734
構成比率	2.29%	7.19%	26.10%	64.41%	100.00%
平成23年(推計)	199	627	2,277	5,774	8,877
構成比率	2.24%	7.06%	25.65%	65.04%	100.00%
平成24年(推計)	198	621	2,255	6,061	9,135
構成比率	2.17%	6.80%	24.69%	66.35%	100.00%
平成25年(推計)	195	614	2,227	6,392	9,428
構成比率	2.07%	6.51%	23.62%	67.80%	100.00%
平成20年からの 伸び率	-1.02%	-3.46%	-3.55%	23.54%	13.37%

各年10月1日現在 平成21年以降は推計値

※年齢区分は、児童期(18歳未満)、青年期(18~39歳)、壮年期(40~64歳)、高齢期(65歳以上)

(2) 療育手帳所持者の推移と推計

年齢別の療育手帳所持者数の推移をみると、児童期、青年期、壮年期、高齢期の方がともに増加しています。平成20年10月1日現在の療育手帳所持者の年齢別構成比をみると、青年期の方が46.82%と最も多く、次いで児童期の方が31.77%となっています。

目標年次の平成25年には、1,723人と推計され、平成20年からの伸び率で9.47%となります。年齢構成でみると、児童期の伸び率が最も高く、34.80%となっています。

(単位：人)

区 分	児童期	青年期	壮年期	高齢期	合計
平成18年	442	718	254	35	1,449
構成比率	30.50%	49.55%	17.53%	2.42%	100.00%
平成19年	461	730	275	39	1,505
構成比率	30.63%	48.50%	18.27%	2.59%	100.00%
平成20年	500	737	296	41	1,574
構成比率	31.77%	46.82%	18.81%	2.60%	100.00%
平成21年(推計)	543	731	293	44	1,611
構成比率	33.71%	45.38%	18.19%	2.73%	100.00%
平成22年(推計)	578	728	292	46	1,644
構成比率	35.16%	44.28%	17.76%	2.80%	100.00%
平成23年(推計)	613	727	292	47	1,679
構成比率	36.51%	43.30%	17.39%	2.80%	100.00%
平成24年(推計)	645	720	289	49	1,703
構成比率	37.87%	42.28%	16.97%	2.88%	100.00%
平成25年(推計)	674	711	286	52	1,723
構成比率	39.12%	41.27%	16.60%	3.02%	100.00%
平成20年からの 伸び率	34.80%	-3.53%	-3.38%	26.83%	9.47%

各年10月1日現在 平成21年以降は推計値

※年齢区分は、児童期(18歳未満)、青年期(18~39歳)、壮年期(40~64歳)、高齢期(65歳以上)

## (3) 精神障がい者保健福祉手帳所持者の推移と推計

年齢別の精神障がい者保健福祉手帳所持者数の推移をみると、青年期、壮年期、高齢期の方が増加しています。平成20年10月1日現在の精神障がい者保健福祉手帳所持者の年齢別構成比をみると、壮年期の方が47.70%と最も多く、次いで青年期の方が32.85%となっています。

目標年次の平成25年には、1,576人と推計され、平成20年からの伸び率で41.85%となります。年齢構成でみると、青年期、壮年期の伸び率が高く、それぞれ46.30%、46.42%となっています。

(単位：人)

区 分	児童期	青年期	壮年期	高齢期	合計
平成18年	6	305	444	123	878
構成比率	0.68%	34.74%	50.57%	14.01%	100.00%
平成19年	5	314	479	162	960
構成比率	0.52%	32.71%	49.90%	16.88%	100.00%
平成20年	5	365	530	211	1,111
構成比率	0.45%	32.85%	47.70%	18.99%	100.00%
平成21年(推計)	5	399	580	222	1,206
構成比率	0.41%	33.08%	48.09%	18.41%	100.00%
平成22年(推計)	5	435	631	229	1,300
構成比率	0.38%	33.46%	48.54%	17.62%	100.00%
平成23年(推計)	5	471	685	235	1,396
構成比率	0.36%	33.74%	49.07%	16.83%	100.00%
平成24年(推計)	5	504	731	247	1,487
構成比率	0.34%	33.89%	49.16%	16.61%	100.00%
平成25年(推計)	5	534	776	261	1,576
構成比率	0.32%	33.88%	49.24%	16.56%	100.00%
平成20年からの 伸び率	0.00%	46.30%	46.42%	23.70%	41.85%

各年10月1日現在 平成21年以降は推計値

※年齢区分は、児童期(18歳未満)、青年期(18~39歳)、壮年期(40~64歳)、高齢期(65歳以上)

(4) 自立支援医療（精神通院）受給者数の推移と推計

年齢別の自立支援医療受給者数の推移をみると、児童期、青年期、壮年期、高齢期の方がともに増加傾向となっています。20年10月1日現在の自立支援医療受給者数の年齢別構成比をみると、壮年期の方が44.78%と最も多く、次いで青年期の方が39.49%となっています。

目標年次の25年には、2,956人と推計され、平成20年からの伸び率で34.79%となります。年齢構成でみると、高齢期の伸び率が最も高く、68.33%となっています。

(単位：人)

区 分	児童期	青年期	壮年期	高齢期	合計
平成18年	59	820	853	228	1,960
構成比率	3.01%	41.84%	43.52%	11.63%	100.00%
平成19年	58	780	853	257	1,948
構成比率	2.98%	40.04%	43.79%	13.19%	100.00%
平成20年	64	866	982	281	2,193
構成比率	2.92%	39.49%	44.78%	12.81%	100.00%
平成21年（推計）	67	913	1,035	312	2,327
構成比率	2.88%	39.24%	44.48%	13.41%	100.00%
平成22年（推計）	70	962	1,091	346	2,469
構成比率	2.84%	38.96%	44.19%	14.01%	100.00%
平成23年（推計）	73	1,014	1,150	384	2,621
構成比率	2.79%	38.69%	43.88%	14.65%	100.00%
平成24年（推計）	76	1,069	1,212	426	2,783
構成比率	2.73%	38.41%	43.55%	15.31%	100.00%
平成25年（推計）	79	1,127	1,277	473	2,956
構成比率	2.67%	38.13%	43.20%	16.00%	100.00%
平成20年からの 伸び率	23.44%	30.14%	30.04%	68.33%	34.79%

各年10月1日現在 平成21年以降は推計値

※年齢区分は、児童期（18歳未満）、青年期（18～39歳）、壮年期（40～64歳）、高齢期（65歳以上）